

伊勢崎市は特例校として、英語教育の充実に力を入れて取り組んでいます。

広瀬小は、全学年週 2 時間（帯時間を含む）の授業を実施しています。

1. 令和 4 年度の学校評価アンケート結果

- ①児童（5, 6年生）へのアンケートで、「英語科の学習に楽しく取り組んでいる」という質問に、7月と12月の「している」「どちらかというとしている」の割合は、それぞれ90%、92%でした。
- ②教職員へのアンケートで、「英語の授業では、市の共通展開例や教材教具を活用し、ALT や英語支援助手と役割分担を明確にして指導を進めている」という質問に、7月と12月の「そう思う」「どちらかというと思う」の割合は、それぞれ89%、100%でした。

2. 学校評価アンケート結果を受けての指導方針

- ①伊勢崎市の共通プログラムに基づき、イングリッシュサポーター（ES）や ALT を効果的に活用し、担任が主導して達成感や成就感を感じることができる指導の工夫に努めていきます。
- ②場面設定の工夫をし、イングリッシュサポーターや ALT による英語の音声に直接触れたり、デジタル教材等で視覚的支援を取り入れたりして児童が相手意識をもてるようにします。

3. 令和 5 年度の編成方針等

市共通の展開例を有効活用するとともに ALT やイングリッシュサポーターのネイティブな音声や英語表現に多く触れさせながら、英語でコミュニケーションをする楽しさや自分の伝えたい内容が表現できたという達成感・成就感が得られる指導の工夫に努めます。